

平26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信越9市町村広域観光連携事業
事業主体 (連絡先)	信越9市町村広域観光連携会議 会長 足立正則 飯山市広域観光推進室
事業区分	(6)ア
事業タイプ	ソフト
総事業費	25,243,256円 (うち支援金: 10,000,000円)

事業内容

- 長野県の進める北陸新幹線延伸と長野県最後の新幹線駅開業に向けた広域観光対策事業と連携した開業イベントやプロモーションを実施した
 - 首都圏、関西圏において新幹線飯山駅開業及び信越自然郷をPRするため、大宮駅、大阪駅で観光誘客キャラバンを実施した。
 - 首都圏、北陸圏において開催されたイベント等に出展し、新幹線飯山駅開業及び信越自然郷のPRを行った。
 - 雑誌、新聞等の媒体を活用し、新幹線飯山駅開業及び信越自然郷のPRを行った。
- 地元住民との協働活動を進めるための研修会や銀座NAGANOを活用した食、土産品等の情報発信を実施した。



【JR大阪駅イベント】



銀座NAGANOでの情報発信

※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

- 9市町村の観光、商工、農業等の団体から推薦された委員が構成する4部会においてそれぞれ事業を展開し、信越自然郷うまいもの市や銀座NAGANOにおける食や文化などの情報発信を信越自然郷エリア内の住民により実施したことで広域連携意識や開業機運を高めることができた。
- 長野県が「しあわせ信州創造プラン」により進める「山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくり」やNAGANOモビリティ (仮称) を長野県と連携し、事業を展開することができた。

【目標・ねらい】

- 信越自然郷の発信・PR
- 北陸新幹線飯山駅開業の認知度向上
- 連携意識及び開業機運醸成

※2 自己評価 (事業効果) 【 A 】

今後の取組み

- 北陸新幹線飯山駅開業直後年度となる平成27年度は、信越自然郷の3つの価値「食」「アウトドア」「リラクゼーション」の発信と提供する環境づくりを実施し、「保養・獲得型」で楽しめる旅行プランの充実を図る。
- 長野県が「しあわせ信州創造プラン」により進める山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくりにおいて、この地域がモデル地域に指定され、また、「NAGANOモビリティ (仮称)」のモデルコースの終点 (起点) にも位置づけられていることから、長野県と連携した事業展開を図る。